

6 認定施設/専門医制度 症例数 学会提出用ファイルを作成するには

ここでは、認定施設/専門医制度に対応した症例数 学会提出用ファイルを作成する方法を説明します。学会提出用ファイルには、[麻酔実施科]が[麻酔科]で登録されており、「手術記録/麻酔台帳登録」画面で[確定]されているデータが含まれます。(偶発症例の入力がある症例の場合、偶発症例の確定/未確定に関わらず、台帳が確定されている症例が含まれます)

6.1 症例数 学会提出用ファイルの作成方法

6.1.1(1) 「学会提出」 | 「症例数提出ファイル作成」メニューを選択します。

※同メニューは、システム管理者または、職員マスタの登録で、「JSA 研修実施責任者」にチェックが入っている職員がログインした場合に、表示されます。

→以下の画面が表示されます。



6.1.1(2) [対象年度]を選択し、[集計]ボタンを押します。

ここで、[対象年度]は、データの集計対象年度を表します。

例えば、2018年度(対象期間:2018年4月1日~2019年3月31日)の学会提出ファイルを作成するには、[対象年度]に[2018]を選択します。



6.1.1(3) 症例数 学会提出用ファイルに含まれる情報が、画面右側に表示されます。



6.1.1.(3)(a) [表示選択]①

[施設全体の症例数]を選択すると、麻酔法分類、手術部位分類及び経験必要症例分類毎の施設全体の症例数が、確認できます。

[麻酔科医師別の症例数]を選択した後、下記②欄で担当症例数または指導症例数のいずれかを選択し、③欄で麻酔法分類、手術部位分類及び経験必要症例分類のいずれかを選択することにより、麻酔科医師毎の各症例数が確認できます。



症例数提出ファイル作成

ファイル作成

※全てのデータが確定されています。症例数提出ファイルが作成できます。

未確定一覧

メッセージを確認

◆表示選択: 施設全体の症例数 麻酔科医師別の症例数

■施設全体の症例数

| 【合計】 | | 【麻酔法分類】 | |
|----------|----|-----------------------|----|
| 麻酔科管理症例数 | 42 | A.全身麻酔(吸入) | 2 |
| | | F.硬膜外麻酔 | 0 |
| | | B.全身麻酔(TIVA) | 0 |
| | | G.脊髄くも膜下麻酔 | 0 |
| | | C.全身麻酔(吸入)+硬・脊・伝麻 | 26 |
| | | H.伝達麻酔 | 1 |
| | | D.全身麻酔(TIVA)+硬・脊・伝麻 | 10 |
| | | X.その他 | 3 |
| | | E.脊髄くも膜下硬膜外併用麻酔(CSEA) | 0 |
| | | 合計 | 42 |

| 【手術部位分類】 | | 【経験必要症例分類】 | |
|---------------|----|---------------|----|
| 10.開頭 | 7 | 40.頭頸部・咽喉頭 | 0 |
| 15.開胸 | 0 | 45.胸壁・腹腔・会陰 | 0 |
| 20.心臓・大血管 | 24 | 50.脊椎 | 1 |
| 25.開胸 + 開腹 | 3 | 55.四肢(含:末梢血管) | 0 |
| 30.開腹(除:帝王切開) | 2 | 99.その他 | 2 |
| 35.帝王切開 | 3 | 合計 | 41 |

ファイル作成

ここで、画面上部に青字で

【※全てのデータが確定されています。症例数提出ファイルが作成できます。】

と表示されていると、症例数学会提出用ファイルが作成可能です。

この場合、[ファイル作成]ボタンを押します。

※ここで、赤字で

【※未確定データが○件あります。】

と表示されている場合は、症例数学会提出用ファイルを作成する事はできません。[未確定一覧]ボタンを押し、未確定の麻酔台帳データを確定してください。



参照

「8 麻酔台帳の未確定データを確定するには」を参照してください。

- 6.1.1(4) [ファイル作成] ボタンを押すと、下記の画面が表示されます。(入力データはサンプルです)

6.1.1.(4)(b) ■麻酔科医師情報

[マスタメンテナンス] | [職員] マスタで、医籍番号、JSA 会員番号が未入力 of 麻酔科医師の一覧が表示されます。(職員コード、氏名、医籍番号、JSA 会員番号は、職員マスタで登録済みの情報が表示されます)

ここで、各行の [編集] ボタンを押すと、下記のように医籍番号、JSA 会員番号の入力欄が表示されます。

■麻酔科医師情報

医籍番号、JSA会員番号が未入力の麻酔科医師データは下記の通りです。
編集ボタンを押し、医籍番号、JSA会員番号を入力してください。

表示件数: 30

| | 職員コード | 氏名 | 医籍番号 | JSA会員番号 |
|-----------|-------|-----------------------|--------|---------|
| 編集 | 10 | JSCVA 専門医1 | 333333 | |
| 編集 | 11 | JSCVA 専門医2 麻酔科専 | 444444 | |

↓↓↓ [編集] を押すと、医籍番号、JSA 会員番号の入力欄が表示されます。入力します。

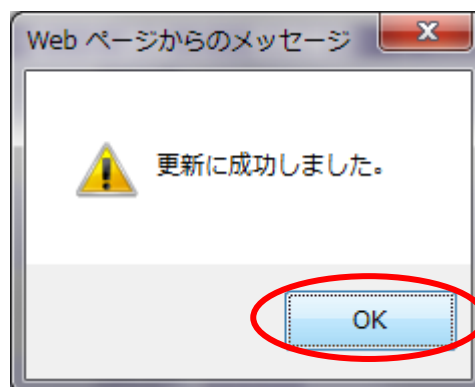
■麻酔科医師情報

医籍番号、JSA会員番号が未入力の麻酔科医師データは下記の通りです。
編集ボタンを押し、医籍番号、JSA会員番号を入力してください。

表示件数: 30

| | 職員コード | 氏名 | 医籍番号 | JSA会員番号 |
|------------------------|-------|-----------------------|--------|----------|
| 更新 キャンセル | 10 | JSCVA 専門医1 | 333333 | 1234 × |
| 編集 | 11 | JSCVA 専門医2 麻酔科専 | 444444 | |

↓↓↓ 医籍番号、JSA 会員番号を入力後に [更新] ボタンを押します。入力した情報は職員マスタに反映されます。更新が正常に行われると下記のメッセージが表示されます。 [OK] を押します。

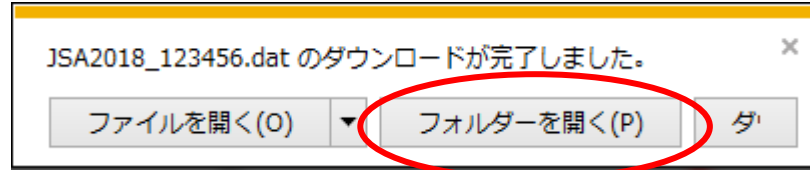


医籍番号、JSA 会員番号の両方を入力すると、一覧に表示されなくなります。
医籍番号、JSA 会員番号は、入力必須項目ではありませんが、番号を持っている麻酔科医については、必ず入力します。

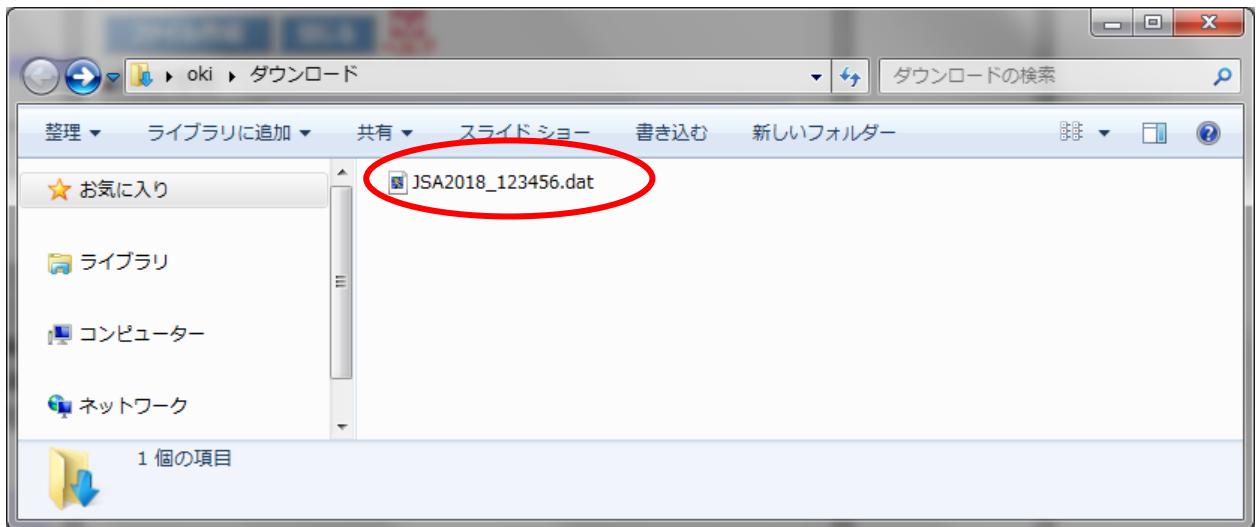
- 6.1.1(1) 麻酔科医師の医籍番号、JSA 会員番号がすべて入力されると下記の画面のようになります。[ファイル作成] ボタンを押します。(入力データはサンプルです)

- 6.1.1(2) ファイルが作成され、下記画面が表示されます。[保存]ボタンを押します。

6.1.1(3) ダウンロードが完了すると、以下の画面を表示されます。[フォルダを開く]を押します。



6.1.1(4) フォルダが開き、症例数 学会提出用ファイルが作成されていることが確認できます。



このファイルを、日本麻酔科学会にご提供ください。

※ファイルの内容は暗号化されており、人の目にはわからない内容となっております。このファイルは開かずに、そのまま、ご提供ください。

6.1.1(5) [閉じる]を押します。(入カデータはサンプルです)

■症例数提出ファイルの作成

施設情報、麻酔科医師情報(医籍番号、JSA会員番号)をご入力いただき、その後、ファイル作成を押し、症例数提出ファイルを作成してください。作成されたファイルは、個人情報が含まれているため、暗号化が施されています。ファイルを開いても人の目で内容を読み取ることはできません。ファイルは開いたりせずに、そのまま学会にご提出ください。

ファイル作成 閉じる ヘルプ

■施設情報

日本麻酔科学会
認定施設コード 123456

施設名 テスト病院

■麻酔科医師情報

医籍番号、JSA会員番号が未入力の麻酔科医師データは下記の通りです。
編集ボタンを押し、医籍番号、JSA会員番号を入力してください。

表示件数 : 30

| 職員コード | 氏名 | 医籍番号 | JSA会員番号 |
|-------|----|------|---------|
| < > | | | |

http://localhost:1519/casesdocument/CasesDocumentInsert.aspx?yearnm=2018

6.1.1(6) 以下のアラートが表示されます。[OK]を押します。

Web ページからのメッセージ

? 入力した内容がクリアされます。画面を閉じてよろしいですか?

OK キャンセル

以上で、学会提出用ファイルの作成は完了です。
(4)項にて作成したファイルを、学会にご提供ください。